平成 30 年度　十勝農試　定期作況報告

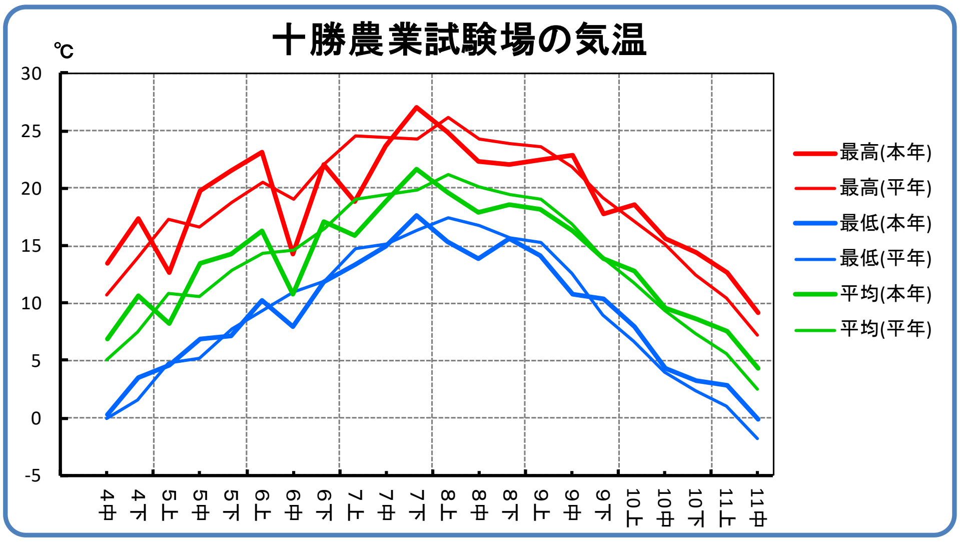
http://www.hro.or.jp/list/agricultural/research/tokachi/sakukyo/index.html

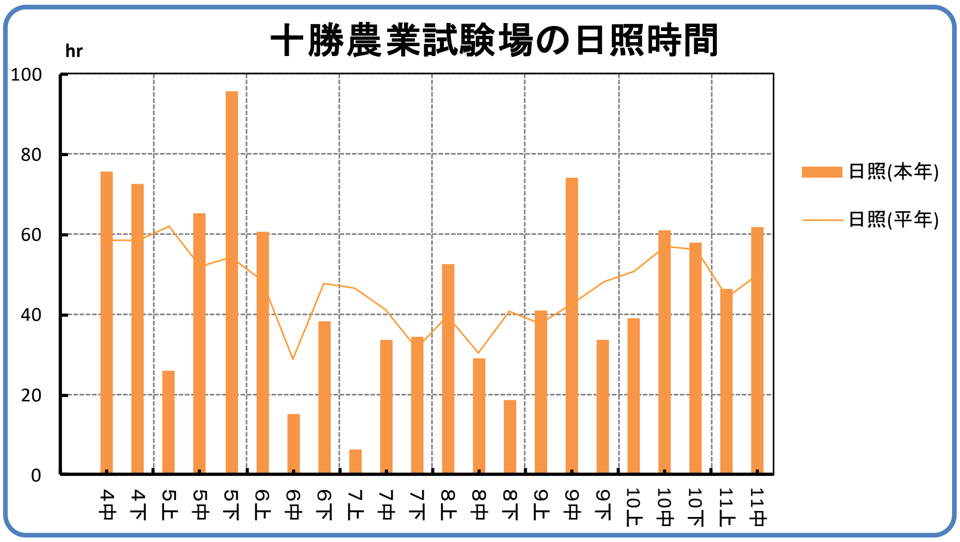
作況概要

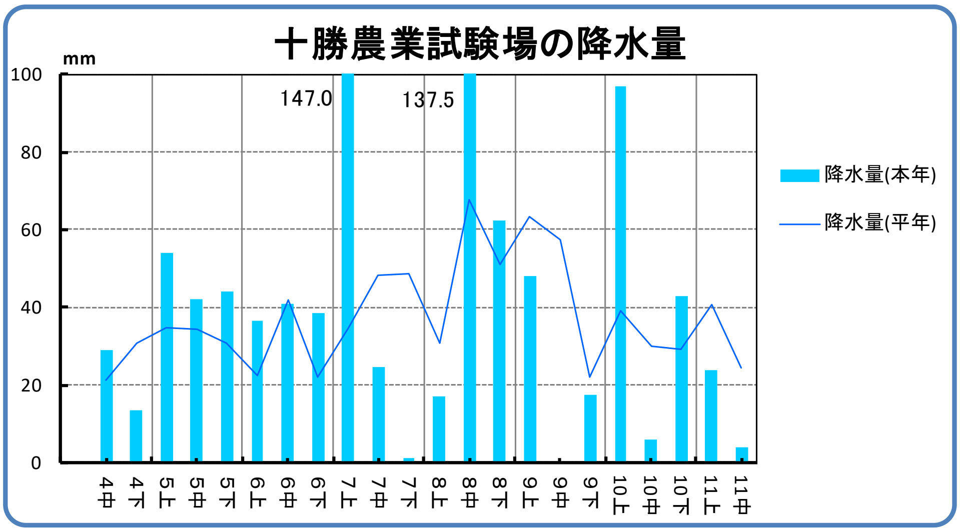
	秋まき小麦	大　豆	小　豆	菜　豆	ばれいしょ	てんさい
5 月 20 日	平年並	―	―	―	―	やや良
6 月 20 日	平年並	やや不良	やや不良	やや不良	やや不良	良
7 月 20 日	平年並	不良	やや不良	やや不良	平年並	良
8 月 20 日	不良	不良	不良	やや良	やや不良	良
9 月 20 日	―	不良	不良	やや良	不良	良
10 月 20 日	良※	不良	不良	―	―	良
11 月 20 日	**不良**	**不良**	**不良**	**やや良**	**不良**	**良**

注1)　当場作況は，十勝農業試験場における各作物の生育調査結果に基づき，平年との比較から収量予測を行うものであり，十勝管内全体の作況を表現しているものではありません。
注2)　秋まき小麦 10 月は本年播種の作況を示します。

気象経過







気　象　表

道総研(十勝農業試験場)

年月	旬	平均気温(℃) 本年	10年平均	比較	最高気温(℃) 本年	10年平均	比較	最低気温(℃) 本年	10年平均	比較	降水量(mm) 本年	10年平均	比較	降水日数(日) 本年	10年平均	比較	日照時間(hr) 本年	10年平均	比較	地温(℃) 本年	10年平均	比較
平成29年9月	上旬	17.6	19.0	-1.4	23.8	23.4	0.4	12.0	15.6	-3.6	5.5	77.0	-71.5	2.0	4.8	-2.8	61.4	35.5	25.9	20.2	21.5	-1.3
	中旬	15.4	17.1	-1.7	20.4	21.9	-1.5	11.4	12.8	-1.4	177.5	42.7	134.8	7.0	3.4	3.6	32.2	42.6	-10.4	17.6	20.0	-2.4
	下旬	13.6	14.0	-0.4	19.2	19.3	-0.1	7.8	9.1	-1.3	17.5	22.9	-5.4	4.0	3.0	1.0	49.0	48.9	0.1	16.6	17.2	-0.6
10月	上旬	12.4	11.8	0.6	17.8	17.2	0.6	6.5	6.8	-0.3	2.0	39.9	-37.9	1.0	3.4	-2.4	51.1	52.4	-1.3	14.6	14.8	-0.2
	中旬	6.5	9.6	-3.1	10.9	15.5	-4.6	1.6	4.1	-2.5	23.0	31.5	-8.5	4.0	3.0	1.0	53.8	56.9	-3.1	10.8	12.1	-1.3
	下旬	7.3	7.3	0.0	12.4	12.5	-0.1	2.3	2.4	-0.1	81.0	24.4	56.6	4.0	2.8	1.2	50.6	56.6	-6.0	8.8	9.5	-0.7
11月	上旬	6.4	5.4	1.0	11.6	10.2	1.4	1.3	0.8	0.5	25.5	38.9	-13.4	4.0	3.8	0.2	52.8	44.4	8.4	7.4	7.2	0.2
	中旬	1.3	2.6	-1.3	6.2	7.2	-1.0	-3.3	-1.7	-1.6	22.0	30.2	-8.2	4.0	2.9	1.1	62.0	47.8	14.2	5.0	4.7	0.3
	下旬	-3.3	-0.2	-3.1	1.9	4.2	-2.3	-9.4	-4.6	-4.8	7.0	12.5	-5.5	4.0	2.4	1.6	49.3	52.6	-3.3	2.0	2.2	-0.2
12月	上旬	-6.0	-1.9	-4.1	-1.4	2.7	-4.1	-11.9	-6.6	-5.3	9.5	29.7	-20.2	5.0	2.9	2.1	65.1	47.0	18.1	0.7	1.1	-0.4
	中旬	-6.3	-5.6	-0.7	-1.0	-0.2	-0.8	-11.8	-11.3	-0.5	17.5	12.5	5.0	5.0	3.4	1.6	51.7	49.5	2.2	0.6	0.6	0.0
	下旬	-5.5	-6.0	0.5	-0.9	-1.3	0.4	-11.3	-11.9	0.6	24.0	14.3	9.7	1.0	3.6	-2.6	60.9	48.3	12.6	0.5	0.3	0.2
平成30年1月	上旬	-5.5	-7.3	1.8	-0.6	-2.1	1.5	-11.6	-13.0	1.4	21.0	5.4	15.6	4.0	2.2	1.8	47.4	57.1	-9.7	0.5	0.3	0.2
	中旬	-9.1	-9.4	0.3	-3.2	-3.3	0.1	-15.4	-16.2	0.8	6.0	4.2	1.8	2.0	1.1	0.9	54.2	61.5	-7.3	0.5	0.2	0.3
	下旬	-8.8	-8.2	-0.6	-3.2	-2.4	-0.8	-15.8	-14.9	-0.9	2.5	7.7	-5.2	3.0	3.3	-0.3	70.7	64.7	6.0	0.5	0.2	0.3
2月	上旬	-8.1	-8.5	0.4	-3.2	-2.6	-0.6	-14.2	-15.0	0.8	16.5	5.4	11.1	6.0	1.5	4.5	49.7	68.6	-18.9	0.5	0.2	0.3
	中旬	-8.9	-6.2	-2.7	-3.0	-0.8	-2.2	-16.6	-12.4	-4.2	5.0	7.9	-2.9	3.0	1.8	1.2	62.2	59.3	2.9	0.5	0.2	0.3
	下旬	-9.5	-5.8	-3.7	-2.2	-0.1	-2.1	-17.4	-12.5	-4.9	1.0	10.3	-9.3	1.0	2.7	-1.7	65.5	55.2	10.3	0.6	0.2	0.4
3月	上旬	-2.4	-3.3	0.9	1.9	1.5	0.4	-7.3	-9.0	1.7	129.5	23.4	106.1	7.0	3.1	3.9	40.8	63.9	-23.1	0.5	0.2	0.3
	中旬	-1.2	-0.8	-0.4	3.7	3.8	-0.1	-6.8	-6.0	-0.8	0.0	9.9	-9.9	0.0	2.2	-2.2	73.9	65.5	8.4	0.8	0.2	0.6
	下旬	2.2	0.6	1.6	7.7	5.7	2.0	-4.1	-4.5	0.4	0.5	11.7	-11.2	1.0	3.0	-2.0	83.5	77.6	5.9	4.0	0.6	3.4
4月	上旬	2.8	3.8	-1.0	7.2	9.5	-2.3	-0.8	-1.7	0.9	4.0	21.4	-17.4	2.0	1.9	0.1	47.2	62.7	-15.5	5.7	3.5	2.2
	中旬	6.8	5.1	1.7	13.4	10.7	2.7	0.3	-0.1	0.4	29.0	21.1	7.9	5.0	3.2	1.8	75.5	58.7	16.8	7.3	6.2	1.1
	下旬	10.6	7.5	3.1	17.4	13.9	3.5	3.5	1.6	1.9	13.5	30.8	-17.3	1.0	3.9	-2.9	72.6	58.5	14.1	11.1	8.7	2.4
5月	上旬	8.2	10.8	-2.6	12.6	17.3	-4.7	4.6	4.8	-0.2	54.0	34.9	19.1	3.0	3.0	0.0	26.0	62.1	-36.1	11.8	11.3	0.5
	中旬	13.4	10.6	2.8	19.8	16.6	3.2	6.9	5.2	1.7	42.0	34.2	7.8	4.0	4.3	-0.3	65.1	52.0	13.1	13.9	12.4	1.5
	下旬	14.3	12.8	1.5	21.5	18.8	2.7	7.1	7.7	-0.6	44.0	30.7	13.3	3.0	3.3	-0.3	95.7	54.3	41.4	15.4	14.6	0.8
6月	上旬	16.3	14.3	2.0	23.1	20.5	2.6	10.2	9.3	0.9	36.5	22.6	13.9	2.0	3.3	-1.3	60.8	48.5	12.3	18.1	16.4	1.7
	中旬	10.8	14.6	-3.8	14.3	19.1	-4.8	8.0	11.0	-3.0	41.0	41.8	-0.8	4.0	4.0	0.0	15.1	29.0	-13.9	15.3	17.5	-2.2
	下旬	17.1	16.5	0.6	22.1	22.1	0.0	11.8	11.9	-0.1	38.5	22.1	16.4	6.0	3.0	3.0	38.2	47.6	-9.4	17.9	18.9	-1.0
7月	上旬	15.9	19.0	-3.1	18.9	24.5	-5.6	13.3	14.7	-1.4	147.0	34.7	112.3	9.0	2.5	6.5	6.4	46.4	-40.0	19.0	21.1	-2.1
	中旬	18.8	19.4	-0.6	23.7	24.4	-0.7	14.9	15.2	-0.3	24.5	48.1	-23.6	3.0	3.3	-0.3	33.7	41.3	-7.6	20.8	21.7	-0.9
	下旬	21.7	19.9	1.8	27.1	24.3	2.8	17.6	16.4	1.2	1.0	48.6	-47.6	1.0	4.7	-3.7	34.3	31.5	2.8	23.2	22.2	1.0
8月	上旬	19.7	21.2	-1.5	24.9	26.2	-1.3	15.3	17.4	-2.1	17.0	30.6	-13.6	2.0	3.6	-1.6	52.7	39.6	13.1	22.5	23.3	-0.8
	中旬	17.9	20.1	-2.2	22.3	24.3	-2.0	13.8	16.8	-3.0	137.5	67.6	69.9	5.0	4.8	0.2	29.0	30.5	-1.5	20.5	22.6	-2.1
	下旬	18.5	19.4	-0.9	22.0	23.9	-1.9	15.6	15.7	-0.1	62.5	51.1	11.4	6.0	4.5	1.5	18.6	40.9	-22.3	20.3	21.9	-1.6
9月	上旬	18.2	19.0	-0.8	22.4	23.6	-1.2	14.1	15.3	-1.2	48.0	63.2	-15.2	5.0	4.3	0.7	41.1	37.7	3.4	**	21.5	**
	中旬	16.3	16.9	-0.6	22.9	21.8	1.1	10.8	12.6	-1.8	0.0	57.5	-57.5	0.0	3.8	-3.8	74.0	42.8	31.2	18.8	19.8	-1.0
	下旬	13.9	13.9	0.0	17.8	19.2	-1.4	10.4	9.0	1.4	17.5	21.9	-4.4	4.0	3.0	1.0	33.7	48.3	-14.6	17.1	17.2	-0.1
10月	上旬	12.8	11.8	1.0	18.6	17.1	1.5	8.0	6.7	1.3	97.0	39.2	57.8	7.0	3.4	3.6	39.1	51.0	-11.9	15.4	14.8	0.6
	中旬	9.5	9.4	0.1	15.6	15.2	0.4	4.3	4.0	0.3	6.0	29.8	-23.8	2.0	3.1	-1.1	61.0	57.0	4.0	13.1	12.0	1.1
	下旬	8.6	7.3	1.3	14.4	12.4	2.0	3.2	2.3	0.9	43.0	29.1	13.9	4.0	2.8	1.2	57.8	56.2	1.6	10.7	9.4	1.3
11月	上旬	7.6	5.6	2.0	12.6	10.4	2.2	2.8	1.0	1.8	24.0	40.6	-16.6	3.0	3.9	-0.9	46.3	44.4	1.9	8.8	7.3	1.5
	中旬	4.3	2.5	1.8	9.1	7.2	1.9	-0.1	-1.8	1.7	4.0	24.4	-20.4	1.0	2.9	-1.9	61.7	49.9	11.8	6.7	4.7	2.0
	下旬																					

注 3) 9/6,9/7 は地震停電の影響により、十勝農試場内マメダスデータが欠測したため、アメダス芽室のデータを代用した。同様の理由で、9 月上旬の本年地温については欠測とした。

平成 29 年

９月　 平均気温は上中旬が低かった。降水量は上旬がかなり少なく、中旬がかなり多かった。日照時間は上旬がかなり多く、中旬が少なかった。

10 月　 平均気温は中旬がかなり低かった。降水量は上旬が少なく、下旬がかなり多かった。日照時間は下旬がやや少なかった。

11 月　平均気温は下旬がかなり低かった。降水量は少なかった。日照時間は中旬が多かった。

12 月　平均気温は上旬がかなり低かった。降水量は上旬が少なかった。日照時間は上下旬が多かった。

平成 30 年

１月　平均気温は上旬が高かった。降水量は上旬が多かった。日照時間は上中旬がやや少なかった。

２月　平均気温は中下旬が低かった。降水量は上旬が多かった。日照時間は上旬が少なかった。

３月　平均気温は下旬が高かった。降水量は上旬がかなり多く、下旬が少なかった。日照時間は上旬がかなり少なかった。

４月　平均気温は中下旬が高かった。降水量は上下旬が少なかった。日照時間は上旬が少なく、中下旬が多かった。

５月上旬　平均気温は低く、降水量は多かった。日照時間はかなり少なかった。

５月中旬　平均気温は高く、降水量はやや多かった。日照時間は多かった。

５月下旬　平均気温は高く、降水量は多かった。日照時間はかなり多かった。

６月上旬　平均気温は高く、降水量は多かった。日照時間は多かった。

６月中旬　平均気温はかなり低く、降水量は平年並であった。日照時間はかなり少なかった。

６月下旬　平均気温はやや高く、降水量は多かった。日照時間はやや少なかった。

７月上旬　平均気温はかなり低く、降水量はかなり多かった。日照時間はかなり少なかった。

７月中旬　平均気温はやや低く、降水量は少なかった。日照時間はやや少なかった。

７月下旬　平均気温は高く、降水量は少なかった。日照時間は平年並であった。

８月上旬　平均気温は低く、降水量は少なかった。日照時間はかなり多かった。

８月中旬　平均気温は低く、降水量はかなり多かった。日照時間は平年並であった。

８月下旬　平均気温はやや低く、降水量は多かった。日照時間はかなり少なかった。

９月上旬　平均気温はやや低く、降水量は少なかった。日照時間は平年並であった。

９月中旬　平均気温はやや低く、降水量はかなり少なかった。日照時間はかなり多かった。

９月下旬　平均気温、降水量は平年並であった。日照時間はかなり少なかった。

10 月上旬　平均気温はやや高く、降水量はかなり多かった。日照時間は少なかった。

10 月中旬　平均気温は平年並で、降水量は少なかった。日照時間は平年並であった。

10 月下旬　平均気温は平年より高く、降水量は多かった。日照時間は平年並であった。

11 月上旬　平均気温は高く、降水量は少なかった。日照時間は平年並であった。

11 月中旬　平均気温は高く、降水量は少なかった。日照時間は多かった。

本年の農耕期間（5 月上旬から 9 月下旬）の気象経過

平均気温は、平年に比べて、5 月中旬～6 月上旬と 7 月下旬が高く、その他は概ね低く経過した。特に 6 月中旬と 7 月上旬はかなり低かった。よって、この期間の平均気温の積算値は平年より 74℃低い 2,461℃となり、平年比 97%であった。

日照時間は、平年に比べて、5 月中旬～6 月上旬、8 月上旬、および 9 月中旬で多かった。その他は並から少なく経過した。特に 6 月中旬、7 月上旬、8 月下旬、9 月下旬はかなり少なかった。よって、この期間の日照時間の積算値は平年より 31 時間少ない 624 時間となり、平年比 95%であった。

降水量は、平年に比べて、5 月～7 月上旬、8 月中下旬で多く、7 月中旬～8 月上旬および 9 月は少なかった。よって、この期間の降水量の積算値は平年より 95mm 多い 711mm となり、平年比 115%であった。

以上から、本年の農耕期間（5 月上旬から 9 月下旬）の気象は、5 月中旬～6 月上旬の高温・多照、6 月中旬の低温寡照、7 月上旬、8 月中下旬の低温・寡照・多雨、および 7 月中旬～8 月上旬の少雨が特徴的であった。積算の平均気温はほぼ平年並、日照時間はやや少なく、降水量は多かった。

農耕期間の積算値　道総研(十勝農業試験場)

期間	項目	平均気温（℃）	最高気温（℃）	最低気温（℃）	日照時間（hr）	降水量（mm）	降水日数（日）	地温（℃）
4月中旬	本年	3,029	4,155	2,006	977	924	79	(3440)
～	10年平均	3,008	4,142	2,025	981	809	76	3,474
11月上旬	比較	21	13	−19	−4	115	3	**
5月上旬	本年	2,461	3,222	1,783	624	711	57	(2766)
～	10年平均	2,535	3,333	1,868	655	616	55	2,881
9月下旬	比較	−74	−111	−85	−31	95	2	**

注 4）9/6,9/7 の地震停電の影響によるデータについては注釈 3 に準じる。本年の地温積算値は、2 日分のデータが欠測した参考値である。

季節調査について

平成 29 年の根雪始は平年より 15 日早く、平成 30 年の根雪終は平年並だったことから、積雪期間は平年より 14 日長い 137 日間であった。晩霜は平年より 20 日早く、初霜は平年より 9 日遅かったことから、無霜期間は平年より 29 日長い 182 日間であった。降雪始は、平年より 17 日遅い 11 月 19 日であった。

季 節 表(十勝農業試験場)

年次	初　霜 (年. 月. 日)	根 雪 始 (年. 月. 日)	根 雪 終 (年. 月. 日)	積 雪 期 間 (日)	降 雪 終 (年. 月. 日)	耕 鋤 始 (年. 月. 日)	晩　霜 (年. 月. 日)	初　霜 (年. 月. 日)	無 霜 期 間 (日)	降 雪 始 (年. 月. 日)
本年	H29.9.29	H29.11.18	H30.4.3	137	H30.4.16	H30.4.18	H30.4.19	H30.10.19	182	H30.11.19
平年		12.3	4.3	123	4.20	4.15	5.9	10.10	153	11.2
比較		−15	0	14	−4	3	−20	9	29	17

＊各季節表項目は，平成 30 年 11 月 20 日現在の十勝農試での観測による。

平成30年度 十勝農試定期作況報告 秋まき小麦

月	作況	事由
10月20日	やや不良	播種は平年より2日、出芽期は1日遅かった。出芽後、10月中旬は低温に経過したため、草丈は平年より短く、葉数、茎数はともに少なかった。 以上のことから、現在の作況はやや不良である。
5月20日	平年並	積雪期間は平年より14日長かった。このため雪腐病が発生したが、被害は軽微であった。起生期の茎数は越冬前を上回っており、越冬状況は良好であった。草丈は平年より高く、茎数は平年並であった。 以上のことから、現在の作況は平年並である。
6月20日	平年並	5月下旬から6月上旬にかけて高温・多照となり、出穂期は平年より3日早かった。草丈は平年よりやや高く、茎数は平年並みであった。 以上のことから、現在の作況は平年並である。
7月20日	平年並	6月中旬、および7月上中旬の低温・寡照により登熟が遅延しているが、稈長は平年より長く、穂長、穂数は概ね平年並であった。 以上のことから、現在の作況は平年並である。
8月20日	不良	6月中旬から7月中旬にかけて低温・寡照となったため登熟は緩慢となり、成熟期は平年より6日遅れた。一方、7月下旬は高温・多照となり、登熟は急激に進んだ。このため粒の充実が劣り、2.2mm篩上率が平年より低下した。リットル重、千粒重は平年並であったが、子実重は平年より少なかった。 以上のことから、現在の作況は不良である。
11月20日	**不良**	播種は平年より2日、出芽期は1日それぞれ遅く、越冬前の生育はやや劣った。雪腐病の発生は少なく、越冬状況は良好であった。4月中旬から6月上旬までは概ね高温・多照となり、草丈は平年より高く、茎数は平年並で、出穂期は平年より3日早い6月3日であった。6月中旬から7月中旬までは概ね低温・寡照に経過した。7月下旬は低温・寡照に経過し、登熟は緩慢であった。稈長は平年より長く、穂長、穂数は概ね平年並であった。成熟期は平年より6日遅れの7月29日であった。一方、7月下旬は高温・多照となり、登熟は急激に進んだ。このため粒の充実が劣り、2.2mm篩上率が平年より低下した。検査等級は2中で平年より劣った。 以上のことから、本年の作況は不良である。

生育データ

品種名		**きたほなみ**		
項目/年次		本年	平年	比較
播種期(月日)		9.23	9.21	2
出芽期(月日)		9.30	9.29	1
起生期(月日)*		4.4	−	−
出穂期(月日)		6.3	6.6	△ 3
成熟期(月日)		7.29	7.23	6
葉数(枚)	10月20日	3.2	3.4	△ 0.2
	11月15日*	5.1	−	−
草丈(cm)	10月20日	15.8	20.6	△ 4.8
	5月20日	53.9	46.3	7.6
	6月20日	96.4	93.5	2.9
茎数(本/㎡)	10月20日	397	506	△ 62
	11月15日*	816	−	−
	起生期*	1,153	−	−
	5月20日	1,243	1,221	22
	6月20日	682	698	△ 16
成熟期	稈長(cm)	90.0	84.4	5.6
	穂長(cm)	8.5	8.7	△ 0.2
	穂数(本/㎡)	676	694	△ 18
子実重(kg/10a)		571	734	△ 163
同上対平年比(%)		78	100	△ 22
リットル重(g)		820	824	△ 4
2.2mm篩上率(%)		88.7	93.2	△ 4.5
千粒重(g)		39.6	39.3	0.3
検査等級		2中	2上	

備考1)平年値は、前7か年中、平成29年収穫(豊作)、28年収穫(凶作)を除く5年平均。年次は収穫年。

備考2)△は平年より早、少、短を表す。*は越冬前後の生育を示すが、平年値がないため本年分のみ示した。

耕種概要

一区面積(㎡)	区制	前作物	畦幅(cm)	播種日(月日)	播種量(粒/㎡)
9.6	4	緑肥トウモロコシ	30	9.23	255

肥料名	施用量(kg/10a)	要素量(kg/10a)				備考
		N	P_2O_5	K_2O	MgO	
S502	80	4	16	9.6	4	基肥
硫安	38	8				追肥(4/5)
硫安	19	4				追肥(5/28)

平成30年播種 十勝農試定期作況報告 秋まき小麦

月	作況	事由
10月20日	**良**	播種期、出芽期はともに平年より2日早かった。草丈は平年より長く、葉数、茎数はともに多かった。 以上のことから、現在の作況は良である。
5月20日		
6月20日		
7月20日		
8月20日		

生育データ

品種名		きたほなみ		
項目/年次		本年	平年	比較
播種期（月日）		9.20	9.22	△ 2
出芽期（月日）		9.27	9.29	△ 2
葉数（枚）	10月20日	4.1	3.3	0.8
草丈（cm）	10月20日	23.6	19.3	4.3
茎数（本/㎡）	10月20日	779	459	320

備考1）平年値は、前7か年中、平成27年収穫（豊作）、28年収穫（凶作）を除く5年平均。
備考2）△は平年より早、少、短を表す。

耕種概要

一区面積（㎡）	区制	前作物	畦幅（cm）	播種日（月日）	播種量（粒/㎡）
9.6	4	緑肥トウモロコシ	30	9.20	255

肥料名	施用量（kg/10a）	要素量(kg/10a)				備考
		N	P_2O_5	K_2O	MgO	
S502	80	4	16	9.6	4	基肥

平成30年度 十勝農試 定期作況報告 大豆

月	作況	事由
6月20日	やや不良	播種期は平年より2日遅い5月22日であった。播種後に適度な降雨があり高温に経過したため、出芽期は平年より1日遅い6月1日となり、出芽率は平年を上回った。出芽後は6月中旬の低温により生育が停滞したため、主茎長、主茎節数は平年をやや下回っている。 以上のことから現在の作況はやや不良である。
7月20日	不良	7月に入り、低温・降雨が続いたため、圃場が過湿気味となり、生育は停滞した。開花始は平年より4日遅い7月18日となった。主茎長、主茎節数、分枝数はいずれも平年を下回っている。 以上のことから、現在の作況は不良である。
8月20日	不良	7月下旬からの好天により生育はやや回復した。しかし、7月12日～8月9日までの29日間における合計降水量が11mmと少なく、8月上旬は干ばつ気味であり、生育前半の遅れを取り戻すには至らなかった。また、8月2半旬以降は低温となったため、再び生育や粒肥大が停滞している。主茎長は平年より低く、主茎節数および分枝数は平年をやや下回り、着莢数は平年比73%であった。 以上のことから、現在の作況は不良である。
9月20日	不良	8月下旬以降も、引き続き気温は低く経過した。日照時間は9月に入り多照傾向に経過した。そのため莢の伸長、粒肥大はやや回復したが、着莢数は平年比86%であった。主茎長は平年より低く、主茎節数および分枝数は平年をやや下回っている。 以上のことから、現在の作況は不良である。
10月20日	不良	成熟期は平年より3日遅かった。主茎長、主茎節数および分枝数は平年を下回った。着莢数、一莢内粒数、百粒重がいずれも平年を下回ったため、子実重は平年対比85%と大きく下回った。 以上のことから、現在の作況は不良である。
11月20日	**不良**	播種期は平年より2日遅かった。播種後に適度な降雨があり高温に経過したため出芽は順調であり、平年より1日遅れで出芽期をむかえ、出芽率は平年を上回った。6月中旬以降は低温寡照が続き、7月上旬は降雨も多かったことから生育は停滞し、開花始は平年より4日遅く、主茎長、主茎節数、分枝数は平年を下回った。7月下旬に好天の期間があったが、7月12日～8月9日までの29日間における合計降水量が11mmと干ばつ気味となり、8月2半旬以降は再び低温となったため、生育は回復せず着莢数は平年より少なく経過した。9月に入り多照傾向となったが生育の停滞を取り戻すには至らず、成熟期は平年より3日遅く、主茎長、主茎節数、分枝数は平年を下回った。着莢数、一莢内粒数、百粒重がいずれも平年を下回ったため、子実重は平年対比85%と大きく下回った。検査等級は平年並の“2中”であった。 以上のことから、本年の作況は不良である。

生育データ

品種名		ユキホマレ		
項目／年次		本年	平年	比較
播種期(月日)		5.22	5.20	2
出芽期(月日)		6.1	5.31	1
出芽率(%)		98.3	92.4	5.9
開花始(月日)		7.18	7.14	4
成熟期(月日)		9.26	9.23	3
主茎長(cm)	6月20日	11.0	11.8	△0.8
	7月20日	48.8	63.6	△14.8
	8月20日	65.9	77.8	△11.9
	9月20日	65.2	76.1	△10.9
	成熟期	63.4	75.4	△12.0
主茎節数(節)	6月20日	2.3	3.1	△0.8
	7月20日	9.1	10.6	△1.5
	8月20日	10.9	11.2	△0.3
	9月20日	10.9	11.2	△0.3
	成熟期	10.5	11.1	△0.6
分枝数(本/株)	7月20日	3.6	5.2	△1.6
	8月20日	5.3	5.7	△0.4
	9月20日	4.9	5.4	△0.5
	成熟期	4.9	5.2	△0.3
着莢数(莢/株)	8月20日	55.8	76.5	△20.7
	9月20日	60.3	70.5	△10.2
	成熟期	64.1	69.3	△5.2
一莢内粒数(粒)		1.77	1.82	△0.05
子実重(kg/10a)3)		325	384	△59
百粒重(g)3)		37.1	38.5	△1.4
屑粒率(%)		2.3	1.5	0.8
品質(検査等級)4)		2中	2中	
子実重対平年比(%)		85	100	

備考1)平年値は，前7か年中，平成26年(豊作年)及び28年(凶作年)を除く5か年平均である。
2)△は，平年と比較して「早」，「少」，「短」，「軽」，「低」を表す。
3)水分含量15%に換算した値。
4)農産物検査による等級。2等・3等は上・中・下に分けた。

耕種概要

一区面積(㎡)	区制	前作物	畦幅(cm)	株間(cm)	1株本数	株数(株/10a)	播種日(月日)	種子処理
16.8	3	緑肥えん麦	60	20	2	8,333	5.22	クルーザーMAXX

施肥量(kg／10a)					
N	P_2O_5	K_2O	MgO	堆肥	その他
1.8	15.0	7.8	3.0	なし	なし

平成30年度 十勝農試 定期作況報告　小豆

月	作況	事由
6月20日	やや不良	播種期は平年並の5月24日であった。5月下旬以降やや高温に経過し、降雨もあったことから出芽は良好で、出芽期は平年より1～2日早かった。その後、6月中旬は低温寡照に経過したことから生育は停滞し、主茎長及び本葉数は平年をやや下回っている。 以上のことから、現在の作況はやや不良である。
7月20日	やや不良	7月上旬以降も低温寡照傾向であったことから生育は引き続き緩慢で、主茎長、本葉数、分枝数ともに平年を下回っている。 以上のことから、現在の作況はやや不良である。
8月20日	不良	7月下旬は高温に経過したことから生育はやや回復したものの、主茎長及び本葉数は平年を大きく下回っている。開花始は平年より5～7日遅く、現時点では着莢数は平年より少ない。 以上のことから、現在の作況は不良である。
9月20日	不良	「きたろまん」及び「エリモショウズ」の成熟期は平年より5～6日遅かった。主茎長、主茎節数及び着莢数は平年を大きく下回っている。 以上のことから、現在の作況は不良である。
10月20日	不良	「アカネダイナゴン」の成熟期は平年より11日遅かった。3品種とも着莢数は平年を大きく下回り、一莢内粒数は平年よりやや少なかった。「きたろまん」及び「エリモショウズ」の百粒重は平年を上回ったものの、子実重は平年比74～81%と低収であった。 以上のことから、現在の作況は不良である。
11月20日	**不良**	播種期は平年並で、播種後の高温により出芽は順調であった。6月中旬から7月中旬まで低温寡照に経過したことから、初期生育は平年より劣り、開花始は平年より5～7日遅かった。7月下旬は高温に経過したものの、生育量は依然として平年より少なく、着莢数は平年の7割程度にとどまった。8月上旬から9月中旬まで平年並からやや低温に経過し、莢の登熟がゆっくり進んだことから、成熟期は平年より5～11日遅く、百粒重は平年より重かった。一莢内粒数は平年よりやや少なく、子実重は平年比74～81%と低収であった。屑粒率は「きたろまん」で平年よりやや多く、「エリモショウズ」で平年並、「アカネダイナゴン」でやや少なかった。検査等級は平年並からやや劣った。 以上のことから、本年の作況は不良である。

生育データ

品種名		きたろまん			エリモショウズ			アカネダイナゴン		
項目／年次		本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
播種期(月日)		5.24	5.24	0	5.24	5.24	0	5.24	5.24	0
出芽期(月日)		6.5	6.7	△ 2	6.6	6.7	△ 1	6.6	6.7	△ 1
開花始(月日)		7.27	7.20	7	7.26	7.21	5	7.27	7.22	5
成熟期(月日)		9.17	9.11	6	9.19	9.14	5	10.1	9.20	11
主茎長（cm）	6月20日	4.4	4.6	△ 0.2	4.3	5.2	△ 0.9	4.6	5.4	△ 0.8
	7月20日	15.5	26.3	△ 10.8	18.1	27.4	△ 9.3	15.4	25.0	△ 9.6
	8月20日	43.7	76.6	△ 32.9	46.1	78.1	△ 32.0	42.3	87.8	△ 45.5
	9月20日	44.4	83.8	△ 39.4	44.8	84.7	△ 39.9	42.6	98.7	△ 56.1
	成熟期	44.4	83.8	△ 39.4	44.8	84.7	△ 39.9	45.7	98.7	△ 53.0
本葉数（枚）	6月20日	0.5	1.0	△ 0.5	0.4	1.0	△ 0.6	0.5	0.9	△ 0.4
	7月20日	5.3	8.0	△ 2.7	5.6	8.3	△ 2.7	5.7	8.5	△ 2.8
	8月20日	10.0	12.8	△ 2.8	11.3	13.9	△ 2.6	12.5	15.8	△ 3.3
主茎節数（節）	9月20日	11.6	13.9	△ 2.3	12.4	14.9	△ 2.5	15.1	16.8	△ 1.7
	成熟期	11.6	13.9	△ 2.3	12.4	14.9	△ 2.5	15.3	16.8	△ 1.5
分枝数（本/株）	7月20日	3.2	3.8	△ 0.6	2.7	3.8	△ 1.1	2.7	4.1	△ 1.4
	8月20日	3.8	4.0	△ 0.2	4.3	4.4	△ 0.1	4.6	4.9	△ 0.3
	9月20日	3.7	3.4	0.3	3.3	3.9	△ 0.6	4.5	4.6	△ 0.1
	成熟期	3.7	3.4	0.3	3.3	3.9	△ 0.6	4.0	4.6	△ 0.6
着莢数（莢/株）	8月20日	38.2	69.5	△ 31.3	41.7	74.0	△ 32.3	29.8	70.9	△ 41.1
	9月20日	39.9	54.4	△ 14.5	40.8	60.5	△ 19.7	41.1	71.7	△ 30.6
	成熟期	39.9	54.4	△ 14.5	40.8	60.5	△ 19.7	48.7	71.7	△ 23.0
一莢内粒数(粒)		6.03	6.38	△ 0.35	5.65	6.09	△ 0.44	3.95	4.12	△ 0.17
総重(kg/10a)		477	645	△ 168	536	704	△ 168	526	638	△ 112
子実重(kg/10a)		288	390	△ 102	300	372	△ 72	279	365	△ 86
百粒重(g)		18.9	15.1	3.8	16.7	13.4	3.3	21.9	17.3	4.6
屑粒率(%)		9.4	6.0	3.4	6.2	6.1	0.1	4.9	6.6	△ 1.7
品質(検査等級)		3下	3中	－	3下	3中	－	4上	4上	－
子実重対平年比(%)		74	100	△ 26	81	100	△ 19	76	100	△ 24

備考　1）平年値は，前7か年中，平成27年(豊作年)及び28年(凶作年)を除く5か年平均である。

2）△は平年と比較して「早」，「少」，「短」，「軽」，「低」を表す。

3）着莢数は，8月20日現在は莢長3cm以上，9月20日現在及び成熟期は稔実莢を示す。

4）品質（検査等級）は旧農産物規格規定（一般小豆の規格その1（素俵））に準ずるものである。

耕種概要

一区面積(m^2)	区制	前作物	畦幅(cm)	株間(cm)	1株本数	株数(株/10a)	播種日(月日)
12.0	3	春播き小麦	60	20	2	8,333	5.24

施 肥 量（kg／10a）					
N	P_2O_5	K_2O	MgO	堆 肥	その他
4	20	11.2	4	なし	なし

平成30年度　十勝農試定期作況報告 菜豆

月	作況	事由
6月20日	やや不良	種種期は平年より1日遅い5月28日であった。5月下旬以降やや高温に経過し、降雨もあったことから出芽は良好で、出芽期は平年並から1日早かった。その後、6月中旬は低温寡照に経過したことから生育は停滞し、草丈及び葉数は平年をやや下回っている。 以上のことから、現在の作況はやや不良である。
7月20日	やや不良	7月上旬以降も低温寡照傾向であったことから生育は引き続き緩慢で、金時類の開花始は平年より5～6日遅かった。葉数はほぼ平年並であるが、草丈および分枝数は平年を下回っている。 以上のことから、現在の作況はやや不良である。
8月20日	やや良	手亡類の開花始は平年より7日遅かった。7月下旬は高温に経過したことから生育は回復し、草丈および葉数は平年並、分枝数および着莢数は平年をやや上回っている。 以上のことから、現在の作況はやや良である。
9月20日	やや良	8月下旬以降は低温傾向で経過したことから、成熟期は3～8日遅かった。 金時類は、百粒重は平年並からやや軽かったが、着莢数および一莢内粒数は平年並からやや上回ったことから、子実重は平年を上回った。9月以降は降雨が平年より少なかったことから、屑粒率は平年より低かった。 手亡類は、着莢数は平年を下回ったが、一莢内粒数は多く、百粒重はやや重かったため、子実重は平年並であった。 以上のことから、現在の作況はやや良である。
11月20日	**やや良**	出芽期から開花期頃まで低温傾向であったため、生育は抑制され、開花始は平年より5～7日遅かった。8月下旬以降も低温で推移したため、成熟期は平年より3～8日遅かった。 手亡類では、着莢数は平年を下回ったが、一莢内粒数は多く、百粒重はやや重かったため、子実重は平年並であった。金時類では、百粒重は平年並からやや軽かったが、着莢数および一莢内粒数は平年並からやや上回ったことから、子実重は平年を上回った。 8月下旬から成熟期まで低温で経過し、降雨が平年より少なかったことから、発芽粒や色流れ粒の発生は少なく、屑粒率は平年より低かったため、検査等級は平年を上回った。 以上のことから、本年の作況はやや良である。

生育データ

品種名		雪　手　亡			大　正　金　時			福　　勝		
項目／年次		本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
播種期(月日)		5.28	5.27	1	5.28	5.27	1	5.28	5.27	1
出芽期(月日)		6.7	6.7	0	6.8	6.9	△ 1	6.9	6.10	△ 1
開花始(月日)		7.25	7.18	7	7.16	7.11	5	7.17	7.11	6
成熟期(月日)		9.20	9.12	8	9.2	8.30	3	9.11	9.3	8
草丈(cm)	6月20日	6.8	7.1	△ 0.3	9.8	10.4	△ 0.6	9.1	10.0	△ 0.9
	7月20日	42.2	53.8	△ 11.6	46.2	49.3	△ 3.1	46.8	48.9	△ 2.1
	8月20日	71.1	67.1	4.0	51.6	51.5	0.1	57.2	54.7	2.5
	9月20日	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	成熟期	63.1	64.5	△ 1.4	49.1	51.1	△ 2.0	51.2	53.3	△ 2.1
葉数(枚)	6月20日	0.3	1.1	△ 0.8	0.2	0.9	△ 0.7	0.3	1.1	△ 0.8
	7月20日	6.1	6.7	△ 0.6	4.2	3.7	0.5	4.3	3.9	0.4
	8月20日	7.8	7.2	0.6	4.2	3.8	0.4	4.5	4.0	0.5
	9月20日	－	－	－	－	－	－	－	－	－
主茎節数(節)	成熟期	9.0	8.9	0.1	6.0	5.8	0.2	6.2	5.9	0.3
分枝数(本/株)	7月20日	7.0	7.7	△ 0.7	6.9	7.0	△ 0.1	5.8	6.7	△ 0.9
	8月20日	9.3	8.7	0.6	7.2	6.3	0.9	7.3	6.0	1.3
	9月20日	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	成熟期	7.8	7.5	0.3	5.3	6.1	△ 0.8	5.5	5.4	0.1
着莢数(莢/株)	8月20日	36.8	34.9	1.9	19.9	17.2	2.7	21.4	16.9	4.5
	9月20日	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	成熟期	28.1	30.7	△ 2.6	17.1	16.9	0.2	18.3	15.7	2.6
一莢内粒数(粒)		4.44	4.17	0.27	2.99	2.73	0.26	2.54	2.66	△ 0.12
総 重 (kg/10a)		720	660	60	507	508	△ 1	572	550	22
子実重(kg/10a)		360	353	7	278	245	33	314	269	45
百粒重(g)		35.5	34.3	1.2	63.1	66.6	△ 3.5	81.9	82.2	△ 0.3
屑粒率(%)		2.4	17.7	△ 15.3	10.6	16.0	△ 5.4	9.8	19.5	△ 9.7
品質(検査等級)		2上	3中		2下	3上		2中	3上	
子実重対平年比(%)		102	100	2	113	100	13	117	100	17

備考　1）平年値は，前7か年中，平成23年（豊作年）及び28年（凶作年）を除く5か年平均である。
ただし、9月20日の各調査項目の平年値は、年次により成熟期後となるため算出していない。
2）△は平年と比較して「早」、「少」、「短」、「軽」、「低」を表す。
3）屑粒は、病害粒、変色粒（色流れ）、未熟粒等を含む。
4）品質（検査等級）は、旧農産物規格規定（普通いんげんの規格その1（素俵））に準ずるものである。

耕種概要

一 区面積(㎡)	区制	前作物	畦幅(cm)	株間(cm)	1株本数	株数(株/10a)	播種日(月日)
12	3	赤クローバ	60	20	2	8,333	5.28

施 肥 量 (kg／10a)					
N	P_2O_5	K_2O	MgO	堆 肥	その他
4	20	11.2	4	なし	なし

平成30年度 十勝農試 定期作況報告 ばれいしょ

月	作況	事由
6月20日	やや不良	植付期は平年並の5月9日であった。植え付け後は気温が高く、萌芽期は「トヨシロ」で1日早く、「男爵薯」「コナフブキ」は平年並であった。萌芽後は低温のため生育が停滞し、茎長は平年を下回り、茎数も「トヨシロ」「コナフブキ」で平年を下回っている。 以上のことから、現在の作況はやや不良である。
7月20日	平年並	開花始は平年より2～5日遅く、茎長および茎数は平年並～やや下回っていた。上いも重は「男爵薯」が平年比99%、「トヨシロ」は100%、「コナフブキ」は107%であった。 以上のことから、現在の作況は平年並である。
8月20日	やや不良	7月下旬の高温・少雨のため生育が停滞し、その後「男爵薯」「トヨシロ」の黄変が急激に進んだ。茎長、上いも重は全ての品種で平年を下回り、上いも重の平年比は91～86%であった。一方、でん粉価は全ての品種で平年を上回ったため、でん粉重は「男爵薯」で平年比95%、「トヨシロ」で90%、「コナフブキ」で94%であった。 以上のことから、現在の作況はやや不良である。
9月20日	不良	枯凋期は「男爵薯」で平年より7日、「トヨシロ」で8日早かった。また、「コナフブキ」は10日早かった。「男爵薯」は上いも数が平年より少なく一個重も軽かったため、上いも重の平年比は86%であった。「トヨシロ」は一個重が軽く、上いも重は平年比89%であった。「コナフブキ」は上いも数が平年をやや上回ったが一個重が平年を下回り、上いも重の平年比は91%であった。でん粉価は「男爵薯」「トヨシロ」が平年を上回ったが「コナフブキ」が平年を下回り、でん粉重の平年比は「男爵薯」で90%、「トヨシロ」で91%、「コナフブキ」で89%であった。 以上のことから、現在の作況は不良である。
11月20日	**不良**	植付期は平年並の5月9日であった。植え付け後は気温が高く、萌芽期は「トヨシロ」で1日早く「男爵薯」「コナフブキ」は平年並であった。萌芽後は低温のため生育が緩慢であった。開花始は平年より2～5日遅く、茎長および茎数は平年並～やや下回っていた。7月下旬の高温・少雨により生育が停滞し、その後「男爵薯」「トヨシロ」の黄変が急激に進んだ。枯凋期は各品種で平年より7日～10日早かった。「男爵薯」は上いも数が平年より少なく一個重も軽かったため、上いも重の平年比は86%であった。「トヨシロ」は一個重が軽く、上いも重は平年比89%であった。「コナフブキ」は上いも数が平年をやや上回ったが一個重が平年を下回り、上いも重の平年比は91%であった。でん粉価は「男爵薯」「トヨシロ」が平年を上回ったが「コナフブキ」が平年を下回り、でん粉重の平年比は「男爵薯」で90%、「トヨシロ」で91%、「コナフブキ」で89%であった。 以上のことから、本年の作況は不良である。

生育データ

品種名		男爵薯			トヨシロ			コナフブキ		
項目／年次		本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
植付期(月日)		5.9	5.9	0	5.9	5.9	0	5.9	5.9	0
萌芽期(月日)		5.29	5.29	0	5.30	5.31	△ 1	5.29	5.29	0
開花始(月日)		7.2	6.27	5	7.2	6.30	2	6.30	6.28	2
枯凋期(月日)		8.22	8.29	△ 7	8.26	9.3	△ 8	9.12	9.22	△ 10
茎長(cm)	6月20日	17.0	23.1	△ 6.1	14.0	19.3	△ 5.3	21.5	30.0	△ 8.5
	7月20日	45.4	49.9	△ 4.5	62.3	61.6	0.7	69.8	75.3	△ 5.5
	8月20日	47.8	51.3	△ 3.5	61.8	64.4	△ 2.6	71.2	82.2	△ 11.0
茎数(本/株)	6月20日	4.3	3.8	0.5	2.6	3.2	△ 0.6	2.8	3.8	△ 1.0
	7月20日	4.1	4.1	0	2.8	3.1	△ 0.3	3.9	4.5	△ 0.6
7月20日	上いも重(kg/10a)	2,419	2,435	△ 16	2,473	2,465	8	2,118	1,985	133
8月20日	上いも重(kg/10a)	3,794	4,169	△ 431	3,792	4,386	△ 594	3,415	3,896	△ 481
	同上平年比(%)	91	100	△ 10	86	100	△ 14	88	100	△ 12
	でん粉価(%)	16.4	15.7	0.7	17.1	16.5	0.6	22.1	21.4	0.7
収穫期	上いも数(個/株)	10.7	11.6	△ 0.9	10.9	10.2	0.7	12.1	11.9	0.2
	上いも一個重(g)	77	83	△ 6	82	96	△ 14	75	86	△ 11
	上いも重(kg/10a)	3,649	4,244	△ 595	3,942	4,409	△ 467	4,018	4,436	△ 418
	中以上いも重(kg/10a)	3,087	3,646	△ 559	3,481	3,892	△ 411	—	—	—
	でん粉価(%)	16.0	15.2	0.8	16.4	16.0	0.4	21.1	21.5	△ 0.4
	でん粉重(kg/10a)	547	606	△ 59	607	667	△ 60	808	911	△ 103
平年比(%)	上いも重	86	100	△ 14	89	100	△ 11	91	100	△ 9
	でん粉重	90	100	△ 10	91	100	△ 9	89	100	△ 11

備考）　1)平年値は，前7か年中，27年(凶作年)及び平成29年(豊作年)を除く5か年平均である。

2)△は平年より早、少、短、軽、低を表す。

耕種概要

一区面積(m^2)	区制	前作物	畦幅(cm)	株間(cm)	株数(株/10a)	植付日(月日)
54	3	えん麦野生種	75	30	4,444	5.9

施 肥 量 (kg／10a)					
N	P_2O_5	K_2O	MgO	堆肥	その他
8	20	14	5	なし	なし

平成30年度十勝農試定期作況報告　てんさい

月	作況	事由
5月20日	やや良	移植期は平年より2日遅い4月28日であった。移植前に降雨があり、活着は順調であった。枯死個体は無く、補植は実施しなかった。草丈は平年より長く、葉数は平年よりやや多かった。 以上のことから、現在の作況はやや良である。
6月20日	良	5月下旬から6月上旬にかけて高温・多照に経過したため、生育は旺盛となった。草丈は平年より長く、葉数は平年より多かった。 以上のことから、現在の作況は良である。
7月20日	良	6月中旬、および7月上中旬は低温・寡照に経過したが、草丈は平年よりやや長く、葉数は平年より多く、根重は平年より重かった。 以上のことから、現在の作況は良である。
8月20日	良	7月下旬は高温・少雨となり干ばつ傾向となったが、草丈は平年並で、葉数は平年より多く、根重は平年より重たかった。 以上のことから、現在の作況は良である。
9月20日	良	8月下旬は多雨・寡照となったが、9月上旬の気温・日照は概ね平年並みに推移し、9月中旬は多照となった。草丈は平年よりやや低く、葉数は平年より多く、根重は平年より重たかった。 以上のことから、現在の作況は良である。
10月20日	**良**	収穫は平年より5日早い10月15日に行った。草丈は概ね平年並で、葉数は平年より多かった。根重は平年比107%、根中糖分は同比104%、糖量は同比111%で、多収となった。 以上のことから、現在の作況は良である。
11月20日	**良**	移植期は平年より2日遅い4月28日であった。移植前に降雨があり、活着は順調であった。生育期間の気象について、5月中旬から6月上旬まで高温・多照に経過した一方、6月中旬から7月上旬、および8月中旬から下旬にかけて低温・寡照となった。このため葉数は平年より多く推移したが、草丈は8月中旬以降生育が鈍った。根重は7月20日以降平年より重く推移した。収穫時の根中糖分は平年比104%、茎葉重は同比119%、根重は同比107%、糖量は同比111%で多収となった。 以上のことから、本年の作況は良である。

生育データ

品種名		リッカ		
項目／年次		本年	平年	比較
播種期(月日)		3.15	3.17	△ 2
発芽期(月日)		3.25	3.24	1
移植期(月日)		4.28	4.26	2
収穫期(月日)		10.15	10.20	△ 5
草 丈（cm）	5月20日	7.5	6.5	1.0
	6月20日	43.3	39.9	3.4
	7月20日	65.2	62.1	3.1
	8月20日	66.7	67.7	△ 1.0
	9月20日	66.1	69.3	△3.2
	10月20日	66.4	68.6	△ 2.2
生葉数（枚）	5月20日	5.8	5.2	0.6
	6月20日	21.1	13.5	7.6
	7月20日	31.4	19.6	11.8
	8月20日	30.9	23.1	7.8
	9月20日	32.7	28.6	4.1
	10月20日	38.3	29.2	9.1
根重（kg/10a）	7月20日	2,884	2,343	541
	8月20日	5,904	5,141	763
	9月20日	7,384	6,962	422
	10月20日	7,981	7,490	491
茎葉重 (kg/10a)		5,449	4,598	851
根　重 (kg/10a)		7,981	7,490	491
根中糖分（%）		16.75	16.10	0.65
糖　量(kg/10a)		1,337	1,203	134
T／R　比		0.68	0.61	0.07
平年比（%）	茎葉重	119	100	19
	根重	107	100	7
	根中糖分	104	100	4
	糖量	111	100	11

備考)　1)平年値は，前7か年中，平成29年(豊作年)及び23年(凶作年)を除く5か年平均である。
2)△は平年より早、少、短、軽、低を表す。

耕種概要

一区面積（㎡）	区制	前作物	畦幅（cm）	株間（cm）	株数（株/10a）
57.6	3	緑肥トウモロコシ	60	23.8	7,003

施 肥 量 (kg／10a)						
N	P_2O_5	K_2O	MgO	B_2O_5	堆肥	その他
15	21.3	13.8	5.0	0.38	3000	なし